

2022年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の奨学金募集一覧（10月5日現在） （下記各団体からの「募集案内」は、総合研究棟Ⅱ 1階の 学生支援チーム ①番窓口 で見ることができます。）									
奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員（全国で）	募集要項の＜請求先＞	申請書類の＜提出先＞	提出期限
岐阜県選奨学金 （2次募集）	岐阜県内に住所を有する者の子弟で、健康でありながら経済的理由により修学が困難な者 ※岐阜県子育て支援奨学金、母子及び父子並びに寡婦福祉法による修学資金との併用は不可	可	学部生	月額 3万2千円 ※日本学生支援機構との併用の場合は 月額 1万6千円	貸与	不明	大学 （学生支援チーム）	大学 （学生支援チーム）	10月21日 （16時厳守）
2022年度（令和4年度） 博士号取得支援事業	以下の条件を満たす者 （1）50歳以上（性別、国籍、所属を問わない） （2）日本国内に在住している者 （3）博士課程（博士後期課程を含む）に在籍するか、論文博士号の取得をめざし、かつ実行性の高い研究計画書を作成した者、もしくは博士論文の一部をすでに作成した者 （4）日本国内の大学で博士号を取得予定の者	記載なし	大学院生 （博士課程）	1件50万円	博士号取得支援	記載なし	一般財団法人 生涯学習開発財団 事務局	一般財団法人 生涯学習開発財団	12月9日（金） （応募書類必着）
2022年度給付型奨学金 一般財団法人 新井芳男記念財団	（1）2022年4月1日現在において、2年生以上に在籍する工学部の方（学部、学科は機械系、化学系、電気系に限る） （2）2022年4月1日現在で、23歳以下の方 （3）2022年4月1日現在、日本国籍または日本の永住権を有する方 （4）最短修業年限にて卒業の見込みがある方	記載なし	2022年4月1日現在において工学部1年生以上の学部生（機械系、化学系、電気系）	年間10万円	給付	30名程度	一般財団法人 荒井芳男記念財団	一般財団法人 荒井芳男記念財団	10月1日～12月29日 （当日消印有効）
社会福祉法人 さぼうと21 2023年度 「坪井一郎・仁子学生支援プログラム」	日本在住の外国籍・元外国籍の学生で、下記の①・②に該当する者 ①難民（インドシナ難民・条約難民・第三国定住難民）及びその子弟 ②中国帰国者三世、日系定住者（中南米など）二世 ＊在留資格が「留学」の学生は、原則として支援の対象となりません。	可 （「生活支援プログラム」と同じ年度に受給することは不可・併願は可）	2023年4月に大学3・4年生、または大学院在籍・進学見込の者 （主に理系の学生）専攻分野指定なし	大学院生：60～100万円（年額） 大学生：40～80万円（年額）	給付	10名程度	社会福祉法人さぼうと21 坪井一郎・仁子学生支援プログラム ホームページ（リンク）	〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2ミズホビル6階 社会福祉法人さぼうと21 「坪井一郎・仁子学生支援プログラム」受付係	11月4日 （応募書類必着）
公益財団法人 パロック村井博之財団助成金制度	日本国内の大学（含む大学院）に在学する日本人学生及び外国人留学生	記載なし	学部生 大学院生	1件上限40万円	助成金	全国で5件程度	パロック村井博之助成金制度	公益財団法人 パロック村井博之財団 事務局	10月1日～10月31日 （当日消印有効）
2022年度秋季 公益財団法人 服部国際奨学財団	正規学生のうち学業、人物ともに優秀かつ健康であって学費の支弁が困難と認められる者 他の機関から、給付、貸与に関わらず月額100,000円以上の金額の奨学金を受けいない者	可 （条件あり）	2022年10月1日の時点で 学部生[4年制]（25歳未満） 学部生[6年制]（28歳未満） 大学院修士（博士前期）（28歳未満） 大学院博士（博士後期）（30歳未満）	月額 10万円 給付期間：2年間 （2022年10月～2024年9月まで）	給付	25名程度	服部国際奨学財団	公益財団法人 服部国際奨学財団	9月27日～10月7日 （応募書類必着）
京丹後市奨学金返還支援制度	大学等を卒業した満30歳未満の方で京丹後市に継続して10年以上定住し、かつ正規雇用等により就業する方（ただし、国家公務員又は地方公務員は除く）	記載なし	令和4年度に卒業する方	＊期間中に返還した奨学金の月額3万円（年額36万円） ＊期間：補助金の交付を申請する年度の前年度の10月1日から起算した1年	返還支援 （最大10年間で360万円補助）	記載なし	京丹後市教育委員会事務局	豊橋市産業部 商工業振興課	対象者事前認定申請
令和4年度 旭川市内に定着した方への奨学金返還支援 （奨学金返還支援事業）	令和4年度卒業予定の方で令和4年度に旭川市内に居住及び地元企業へ正規雇用により就業する方 対象となる奨学金：独立行政法人日本学生支援機構 第一種貸与奨学金	返還支援	大学4年生の者 大学院2年生以上の者。 （令和4年度に大学もしくは大学院を卒業又は修了予定の者）	奨学金の返還金として返金した返済した金額の1/2を年度ごとに補助 ＊3年間で最大258,000円	返還支援	記載なし	旭川経済部経済総務課 雇用労政係	旭川経済部経済総務課 雇用労政係	3月31日 （登録受付・書類必着）
豊橋市奨学金返還支援制度		記載なし	令和4年度に卒業する方	3年間で 最大54万円を補助 （月額1万5千円）	返還支援	記載なし	豊橋市産業部商工業振興課	豊橋市産業部 商工業振興課	補助対象者登録申請 （就職した翌年度の6月まで）
徳島県奨学金返還支援制度	以下の（1）～（5）すべてに該当する者 （1）日本学生支援機構奨学金等（徳島県が認めるもの。）の貸与を「受けている方」又は「受けていた方」（既卒者にあつては返還残額がある方（滞納がある場合を除く） （2）徳島県内の事業所に正規職員として就業を希望する方（公務員を除く） （3）大学、短大、大学院、高等専門学校、専修学校専門課程（大学等）を規程の「卒業年度」に卒業し規程の「卒業開始期間」内に就業する方 （4）徳島県内に住所を有する予定である方 （5）既卒者にあつては、R4.8.1時点で県外に在住し徳島県に移住する事を希望する30歳（R5.4.1時点）までの方	記載なし	令和4年度、令和5年度に卒業する方	①日本学生支援機構無利子奨学金借受総額の1/2（上限100万円） ②日本学生支援機構有利子奨学金借受総額の1/3（上限70万円）	返還支援	150名程度	徳島県奨学金返還支援制度	徳島県政策創造部 県立総合高等学校本部	8月1日～12月23日 （当日消印有効）

奨学団体等	必要資格	他 奨学金 との重複	対象学年	金額	給付・貸与 の別	募集人員 (全国で)	募集要項の ＜請求先＞	申請書類の ＜提出先＞	提出期限
公益財団法人 鹿児島県育英財団	次の①、②のいずれかに該当し、かつ③から⑥までの全てに該当する者 ①鹿児島県内の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)、特別支援学校の高等部、高等専門学校及び専修学校(高等課程)(以下、「高等学校等」という。)を卒業した者。 ②鹿児島県外の高等学校等を卒業した者又は高等学校卒業程度認定試験合格者(県内に生活の本拠を有する者の子等で、県内の中学校を卒業した者に限る。) ③大学又は大学院(以下「大学等」という。)に在学し、令和6年3月(令和5年度中を含む。)に大学等を卒業(修了)予定の者。 ④日本学生支援機構第一種奨学金又は公益財団法人鹿児島県育英財団大学等奨学金の貸与を受けている者又は貸与を受けていた者。 ⑤大学等を卒業(修了)後、県内企業等に就職する意思があり、かつ県内居住を希望する者。 ⑥鹿児島県等が実施する返還免除の制度が設けられている修学資金等を受給していない者 ※大学等入学時に、当財団の大学等入学時奨学金(地方創生枠)の奨学生として採用され、送金を受けた者は申請できない。	記載なし	現在 大学3年生の者 大学院1年生の者。 (令和6年3月<令和5年度中を含む>)に大学もしくは大学院を卒業又は修了予定の者)	在学中に借り受けた奨学金の全額 ※ただし、奨学金返還支援の要件を満たす前に返還をした奨学金の額及び返還期限猶予をされた奨学金の額は支援対象外となる。 ※大学院に進学した場合在学中に借り受けたいずれか一つの奨学金の全額を支援対象とする。 ①大学(学部)②博士課程③修士課程	返還支援	20人程度	公益財団法人 鹿児島県育英財団 ホームページ(リンク)	公益財団法人 鹿児島県育英財団	8月5日～ 12月1日 (応募書類必着)
林レオロジー記念財団	1)未来に役立つ理論・メカニズムの設計工学・ロボット工学・AI技術・IT技術・制御工学等の自動製造システムに関する学問を習得又は学術研究を志す工学部・理学部系の大学院生及び大学生。もしくは「食品産業に関する」農水産学部・生命科学部系等の大学院生及び大学生を対象とし、かつ以下の①～③の全てを満たしている者。 ①令和5年4月に大学3年もしくは4年に進級する人、または大学院前期(修士課程)の1年生に進学を希望する人もしくは大学院前期(修士課程)の2年生に進級する人。(9月進学者は除く) ②品行方正で学習意欲の高い人。 ③学業成績が一定水準以上の人。 2)前年度応募者及び前年度奨学生も応募資格を有するものとする。 3)他の奨学金制度に応募し、又は他の奨学金制度を現に利用している場合は、 <u>その財団が併給可の場合のみ</u> 、応募資格を有するものとする。	可	令和5年4月現在で 学部学生： 3～4年生に進級する人 大学院：修士課程1年生に進学希望する人、若しくは2年生に進級する人	学部学生 月額3万円 大学院生 月額5万円	給付	(本学から) 学部学生 各学部 1名程度 大学院生 各研究科 1名程度	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	8月1日～10月11日 (16時厳守)
大和郡山市 奨学金返還支援制度	①大和郡山市に住所を有し、5年以上定住する意思のある方 ②助成金申請初年度の4月1日に満30歳未満の方 ③大学等を卒業後に奨学金の返還を延滞なく行っている方 ④世帯で市税等の滞納がない方 ⑤他の制度で、奨学金を対象とした助成・補助を受けていない方 ⑥次のどちらかに該当する方 ア 大和郡山市に本社を有する中小企業に正規雇用された方 イ 一定の専門資格を有し、大和郡山市内の社会福祉事業所等に正規雇用されている方	返還支援	学部生 大学院生	奨学金の月額返還額の3/4もしくは、15,000円のどちらか小さい額を最長で3年間助成(最大助成額54万円)	返還支援	記載なし	大和郡山市奨学金返還支援制度	大和郡山市役所 総務部 企画政策課	4月1日～ 令和7年3月31日
臨時特例伊勢市奨学会	(1)2022年4月1日の時点で学部生1年～4年生に在籍する者 (2)保護者が伊勢市内に在住し、住民登録があること (3)経済的な理由により学びの継続が困難なご家庭	重複可	学部学生	年額96,000 (月額8,000×12ヵ月分)	給付	記載なし	臨時特例奨学金	伊勢市教育委員会事務局	6月1日～ 2月28日 (当日消印有効)
(財)交通遺児育英会	保護者等が自動車事故や踏切事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生 ※応募時に25歳以下の者	可	大学院生(在学) 大学院予約(学部最終学年) 学部生	月額 5万, 8万, 10万円 (うち2万円は給付) 月額 4万, 5万, 6万円 (うち2万円は給付)	貸与 (無利子)	20名 300名	(財)交通遺児育英会(リンク)	(財)交通遺児育英会 提出期限の1週間前までに大学に推薦書の作成を依頼すること	10月31日 (1次)8月31日 (2次)1月31日
和歌山県奨学金返還助成制度	①2023年3月卒業予定、又は、2024年3月卒業予定の学部生、大学院生で理工系、情報系、農学系、薬学系の学部・研究科に在籍する方 ②和歌山県内の製造業、情報通信業の企業へ就職を希望する方 ③日本学生支援機構奨学金(第一種または二種)、その他貸与型奨学金の貸与を受けている方	可	大学3.4年生の者 大学院1.2年生の者	助成金額 奨学金返還金に相当する額 最大100万円	返還支援	【2023年3月卒業予定】40名 【2024年3月卒業予定】50名	Uわかやま就職ガイド	和歌山県 商工観光労働部 労働政策課	【2023年3月卒業予定】 2022年5月20日 【2024年3月卒業予定】 第1回目 令和4年7月1日 第2回目 令和4年10月7日 第3回目 令和5年1月20日
たすけあい奨学制度 (扶養者を亡くされた学生への緊急援助)	大学生協のある大学の学生(学部生、大学院生) (在学中の方で、扶養者を亡くされてから原則として6ヵ月以内の方)	可	学部学生・大学院生	10万円(一括給付)	給付	記載なし	たすけあい奨学制度(2/1以降から応募用紙変更)	全国大学生協連奨学財団	随時 (在学中の方で、扶養者を亡くされてから原則として6ヵ月以内の方)
みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院	日本全国の医科大学・大学医学部に在籍する医学生	卒業後の進路に指定のある奨学金との重複は不可	医科大学・大学医学部の学部生	月額 10万円 月額 15万円	貸与 (返還免除制度あり)	記載なし	津生協病院 ホームページ(リンク)	津生協病院 ホームページ(リンク)	随時
	は新着情報です。 ※ 掲 示 期 限 ： 2024年3月31日 (それ以前に 内容更新があった場合は、その更新(差替え)時まで)								